

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくしの家婦中		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 16日		～ R7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	R7年 1月 16日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	安心感をもって児童を預けて頂き、支援内容にもよい評価を頂いている。	保護者とよく会話するようにしている。雑談であろうと、その中に必要な情報や悩み事・課題があれば職員間でも対応に繋げるようにしている。	安全であることは当然の事として、より有意義に過ごせるよう集団・個人活動に取り組み、イベントなども立案、実行していく。
2	多職種の職員が従事している。	介護士、看護師、作業療法士、保育士、調理師などが連携し支援計画に基づき専門性を活かして支援している。	研修会に積極的に参加し自己研鑽に励んでいる。
3	事業所内のスペースを十分確保し、車いすでも安全に移動でき安心して過ごせる。	生活介護の利用者もいる中でお互いが交流しながら快適に過ごせるよう配慮している。	宿題や自己の課題に取り組む時に集中できる環境を提供したい。(ゲーム機で遊んでいる児童と同じ机にしない、等)

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や健常児との交流を図る機会を持つ事ができていない。	放課後の短い時間では難しく1日利用の時に行えばよいが、生活介護の利用者もいるので難しい。イベントの為に準備の時間を設ける事が日常の業務の時間内では手一杯で難しい。ポスター1枚作るのにも時間がない。	手始めに近隣で遊んでいる児童がいる時に積極的に出かけて挨拶し合ったりしていきたい。夏祭りの行事にお誘いしたり、町内会にも伝えていくようにする。
2	避難訓練は必ず行っておりつくし便りにも載せているが保護者に伝わっていない。発信力が足りない。興味をもってつくし便りやH.Pをみてもらえていない。	長期休暇中は児童の記事も盛り込んであるが、つくし便りがどちらかというと生活介護向けになっているのかもしれない。	口頭でも伝えていく。災害が起きた際のBCPについて保護者にも広く伝えていく。つくし便りの内容の検討、検討を行う。
3	ペアレントトレーニングの為に研修など、把握できておらず情報発信できていない。保護者間の交流会も開催できていない。	交流会を行うには、職員の休日出勤が必要になる。日常業務中は難しい。	情報の発信については目を引く掲示板を玄関に作って行っていく。交流会は保護者の要望も伺いながら祝日を利用して開催するなど考えていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 つくしの家婦中

公表日 令和7年2月25日

利用児童数 令和7年1月31日 14名 回収数 8名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		2	手厚いとおもう	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5			3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	2			「どちらともいえない」について、今年度利用回数や時間が少なかつたため	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6			2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5			3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		2	3	3	(わが子の利用時にはなかった)	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		6		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	3	4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	2		1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6			2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			5		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			3	発生したことが無い×3名	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくしの家婦中			公表日		令和7年2月25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	利用人数とフロアの広さに合わせて毎日検討して提供している。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2		児童の1日利用時は生活介護と合わせると看護師が足りないと感じる。募集は出している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	児童の特性に応じ工夫している。個別対応できるよう配慮した空間を準備している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	1日のサービスの終わりにミーティングを行い1日の振り返りを行っている。	パート職員が早く帰宅してしまう為、参加することが難しい。翌日に口頭で伝えたり業務日誌に記入したりしているが、伝わっていないこともある。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	意見があれば真摯に受け止め対応している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	1日のサービスの終わりにミーティングを行い1日の振り返りを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3	同じつくしグループで応援で来たりはしており意見を聞いたりして改善につなげているが、第三者の介入はない。	今後も積極的に事業所間研修や応援に行ったり、研修会などで他の事業所の職員と情報交換を行う。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	最近はYouTubeなどでも研修を受けており短時間でも受講し知識を広げる機会が増えている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	ケア会議を設けて出席できなかった人にも周知するようにしている。新規の利用者の支援計画については必ず職員全員に支援内容を細かく伝えている。	パート職員が遅く出勤、早く帰宅してしまう為、参加することが難しい。翌日に口頭で伝えたり業務日誌に記入したりしているが、伝わっていないこともあるため周知を徹底していきたい。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	全職員がいつでもすぐ内容確認できるように使う実績ファイルの後ろに入れてある。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		生活介護は介護マニュアルを作成してあるが、放デイに関しても作成するようになりたいと思っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0				

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	案は一人で考えているが、困ったときには色々な職員が相談にのり意見を出し合って最終的に立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	つくし便りを作成する際に活動予定のプログラムに偏りがないよう様々な活動を計画している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	個々の特性に合わせて必要な活動を提供している。	1日利用時は職員数に関連して集団活動が多く、個別活動ができていない時もある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼で確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	1日のサービスの終わりに必ずミーティングで1日の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	1日利用時は児童が自分で1日のスケジュールを立てて事業所で過ごしてもらうようにしており、自己決定を促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		学年の低い児童はいなかった。来年度は小学部1年生が利用されるので情報共有したい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	移行支援会議への参加や相談支援員からの情報を共有し、事業所での支援内容も相手に提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3		『必要に応じて』今は必要に迫られていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		戸外活動が増えた時に地域との交流を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	7		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	つくし便りをH.Pに載せることで、予定や活動内容、連絡事項を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	行事は招待していないが、挨拶するなど近所の方には理解されていると感じている。	対応する職員数など、行事に招待する受け入れ体制が整っていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	(食物アレルギーがある児童は今はいない。)	医療的ケアがある児童には医師の指示書をもっているため、今後該当する児童があれば同じように対応していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	報告書は必ず作成し毎日のミーティング時にも再発防止のための話し合いをしており、周知もしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会があり、事例を用いて研修したり、チェックシートで自己や他職員の行動・言動の振り返りを行い虐待防止に努めている。。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0			